

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第1学年

【単元名】 あきとなかよし～3くみのわくわくランドをつくろう～（11時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
身近な自然のものを利用した遊びを繰り返しながら、季節の変化や秋の自然の特徴に気付いている。	身近な自然のものを利用した遊びや、わくわくランド作りの過程で、もっと工夫したりさらに楽しくしたりしながら遊んでいる。

【主な学習活動と留意点】

前單元からのつながり：「なつをたのしもう」 砂場で水を使って思い切り遊んだ。

・身の回りの材料で校庭の砂場でお砂場ランドを作る。・クラスの願いからスーパーお砂場ランドへ。

生かす見方・考え方：お砂場ランドに向けて、自分の思いや願いを実現しようとする。

過程	学習活動（時間）	留意点
思いや願いをもつ	1 校庭や学校の周りで秋を見つけよう（2）	<p>見つけた秋の実から思いや願いをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞夏はどんな様子だったか思い出し、子どもたちが違いに気付くようにする。 ☞実物を実際に見ることで、秋を感じられる。 <p>活動への願い：見つけた秋の実を使って、みんなで楽しく遊びたい。</p>
活動や体験をする	2 秋の実で遊ぼう（2）	<p>秋の実で遊び込み、試行錯誤する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞一人一人の発想をもとに秋の実を使って遊ぶ場を設ける。 ☞遊びをいろいろ試したり、友だちの遊びと比べたりして、さらなる工夫ができるようにする。 ☞行った遊びの楽しさを伝え合う場を設ける。
感じる・考える	3 前庭に3組のわくわくランドを作ろう（4）	
	4 3組のスーパーわくわくランドを作って遊ぼう（2）	<p>スーパーわくわくランドをみんなで作る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞繰り返し対象に関わりながら、わくわくランドでの遊びが広がっていくようにする。また、みんなで遊ぶことの楽しさを自覚できるようにする。
表現・行為する	5 楽しかったことを振り返ろう（1）	<p>対象への気づきを表現する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞遊んできたことを振り返りながら、楽しかったことや工夫できたことを表現する場を設ける。

次單元へのつながり：「年長さんを招待しよう」3組のスーパーわくわくランドで年長さんと遊ぶ。

・伝えたいことや伝え方を考える。

・園児と関わることのよさや楽しさが分かる。